

ワークルール検定 **ドリル** vol. 13

働きやすい職場環境をつくるために、ワークルールの知識は欠かせません。
実際の検定問題でドリルを作成しましたので、チャレンジしてください!!

過去の検定問題にチャレンジ! (ワークルール検定問題集2022年版より出題)

Q1 最低賃金について、正しいものを **ひとつ** 選びなさい。 【正答率99%】

- ① 最低賃金は、当該企業における最低の基本給、つまり初任給のことをいう。
- ② 労使は対等の立場にもとづいて賃金額を合意するのであるから、その合意が無効となることはない。
- ③ 最低賃金を上回る賃金額を労働契約で定めた場合、使用者は労働契約で定めた賃金額を労働者に支払わなければならない。
- ④ 最低賃金は、全国一律で定められている。

Q2 セクハラについて、正しいものを **すべて** 選びなさい。 【正答率78%】

- ① セクハラの被害者には、女性だけではなく、男性もなりうる。
- ② 勤務時間外に行われる懇親会での言動は、プライベートな時間でのものなので、セクハラに該当しない。
- ③ 男女雇用機会均等法は、職場におけるセクハラの発生を防止するために、事業主が雇用管理上必要な措置を講じるよう義務づけている。
- ④ 男性の上司が男性の部下に性的関係を求めることは、同性間の言動なので、セクハラに該当しない。

こたえ Q1 ③

解説 最低賃金制度は、これを下回る賃金額の合意を無効とするものであって、これを上回る賃金額の合意は有効です。④については、最低賃金は地域ごとに定められる「地域別最低賃金」

と、特定の産業で働く人に適用される「特定最低賃金」とがあり、全国一律で定められるものではありません。

こたえ Q2 ①、③

解説 勤務時間外であっても、職務上の地位を利用して、業務に関連して行われた場合には、セクハラとなりえます。厚生労

働省は、異性間だけでなく同性間の言動についても職場のセクハラに該当することを、均等法の指針で明らかにしています。

もっと学びたいあなたに!

公式テキストブック
(一般社団法人 日本ワークルール検定協会編)

- ワークルール検定 初級テキスト [第4版]
- ワークルール検定 中級テキスト [第5版]
- ワークルール検定問題集 [2022年版]



WR検
ワークルール検定。

11月27日(日)開催!

ワークルール検定2022 秋
《初級・中級》

問合先 (一社) 日本ワークルール検定協会
<http://workrule-kentei.jp/>



申込受付中
10/20(木)
まで

